

ネブラスカ州：小麦作柄と気象状況

2002年8月30日

2002年産冬小麦作柄概況：

ネブラスカ産硬質赤色冬小麦 (Hard Red Winter wheat) は、従来より高品質の小麦としての名声を受けているが、日本向け小麦としては此れまで余り注目されていなかった。2002年に中西部を襲った早魃の為、日本向け小麦の量的な確保が重要課題となり、同州の小麦生産事情、生産品種等が日系商社の間で話題と成った。

同州の2002年産冬小麦の播種時期から生育、収穫までの気象を小麦主産地である北西地区 (NW、Panhandle) と南西地区 (SW) を中心に追って見るとロッキー山系の東部平原を襲った早魃の一端が覗かれる。

2002年産小麦の播種は2001年9月2日に4%の圃場で終了し、この進捗は略平年並である。全州で播種が完了したのは10月始めであった。2002年12月から2003年3月の降雪量は平年を下回り、NW地区の多くの小麦圃場が Snow cover 不足より寒風に晒された。小麦が休眠から覚め生育を開始した3月終わりから5月の始めまでの降水量は、NW地区で平年の37%、SW地区で42%と極めて少なく、小麦の作柄は“very poor”及び“poor”が75~80%に達していた。小麦の出穂時期となった5月中下旬のから開花時期の6月初旬の気温は平年を11度F以上上回る、乾燥・高温気象となり、受粉に最悪な状態であった。6月10~16日に降水があり、気温も多少下がり北西部の開花期に有った小麦、並びに南西部の登熟期の小麦には良好な降水であった。その後気温は再び上昇し100度を越す日が続き、小麦粒は急速に枯熟した。4月1日から6月23日までの降水量はNW地区では平年の40%、2.28インチ、SW地区では3.69インチ (平年の46%) であった。6月中下旬の乾燥・高温の下小麦は急速に枯熟し、6月30日の段階でNWでは6%、全州で27% (2001年同期：3%、平年：12%) が収穫された。その後も高温が続き収穫は平年以上の速さで進み、7月21日には全州の97%で収穫が完了した (2001年：67%、平年78%)。

生産量予想 (USDA8月1日発表)

	Area Planted 1,000 acres	Area Harvested 1,000 acres	Yield lbs/bu	Production 1,000 Bushels
2001 Crop	1,750	1,600	37.0	59,200
2002 Crop	1,650	1,450	32.0	46,400

作付け品種 (ネブラスカ州農務局/USDAの共同育種による品種が主力である)

作付面積比率：

	Alliance	Arapahoe	Pronghorn	2137	Niobrara	Buckskin	Others
2001Crop	16.6 %	13.0	10.8	8.0	6.9	6.2	38.5
2002Crop	16.0 %	13.4	10.9	10.4	9.3	4.7	35.3

主産地NW (Panhandle) の中心品種はAllianceで同地区の作付面積比率は26.9%、SW地区では同品種は14.7%であり、Arapahoeが15.8%でトップと成っている。日本向けに出回るモンタナ州の硬質赤色冬小麦の品種とは全く異なる品種が作付けられている。モンタナ産HRWの中心品種は、Neeley、Rampart、Tiber等である。尚、新しい動きとして高単位収量が期待されるHard White wheatの作付

けが奨励されている。今後の動きが注目される。

2002 年産小麦の品質：

NW 地区の小麦の品質は、登熟の初期に気温が下がった事もあり、澱粉蓄積は良く容積重並びに 1,000 粒重は略 2001 年産並であった。容積重は平均 60.06lb/bu (昨年：59.83lb/bu)、1,000 粒重は平均 28.36gr (昨年：28.37gr) であった。蛋白質は平均 13.56% (昨年：13.46%) と多少昨年を上回り、粒の灰分も 1.754% と昨年平均の 1.675% を上回っている。収穫時の粒水分は平均 11.87% (昨年：12.56%) と乾燥気象であった事を物語っている。SW 地区の小麦も容積重は昨年来を多少上回り、平均 61.33lb/bu (昨年：60.55lb/bu) と良く、1,000 粒重も 30.92gr と昨年平均の 28.50gr を上回った。平均蛋白質含有量も 12.39% (昨年平均：12.09%) 昨年を上回っている。

早魘状態で生育・登熟したネブラスカの小麦は単位収量で減少を示したが、同様な早魘下で急激な登熟をした他州の冬小麦より品質面では良好であったと言える。

小川正晃：Email ogawa.max@omicnet.com